



ぎふアニメフェア

話題のアニメ映画と
岐阜県がコラボレーション!
岐阜県の魅力が感じられる1日。

1/21(土)
10:00~17:00
会場:3331 Arts Chiyoda
千代田区外神田6丁目11-14



君の名は。
your name.

主なプログラム 「ルドルフとイッパイアッテナ」「君の名は。」
「映画『聲の形』」映画シーンパネル展

13時30分～「ルドルフとイッパイアッテナ」の原作者

斉藤 洋氏によるトークショー



斉藤 洋(さいとう ひろし)氏
1952年生まれ。児童文学作家。第27回講談社児童文学新人賞に「ルドルフとイッパイアッテナ」を投稿して受賞、児童文学作家としてデビュー。2013年「ルドルフとスノーホワイト」で第51回野間児童文芸賞を受賞

ご来場者の方
先着100名様に各映画の
限定オリジナルグッズを
プレゼントするよ!
くわしくは裏面
を見てね!



協力/日本テレビ、東宝、映画聲の形製作委員会、岐阜市、飛騨市、大垣市
問合せ/岐阜県東京事務所 TEL: 03-5212-9020 FAX: 03-5210-6871

「ルドルフとイッパイアッテナ」×岐阜市



リエちゃんの家

©2016「ルドルフとイッパイアッテナ」製作委員会



金華橋

©2016「ルドルフとイッパイアッテナ」製作委員会



金華橋から眺めるルドルフ

©2016「ルドルフとイッパイアッテナ」製作委員会

大好きなリエちゃんと岐阜で暮らしていた黒猫のルドルフ。ある日長距離トラックの荷台に迷い込んでしまう。目が覚めたルドルフがたどり着いた場所は、大都会・東京だった。ルドルフは街で最も恐れられる巨大なボス猫・イッパイアッテナに出会う。自分が住んでいた場所がわからないルドルフ。故郷に帰れないことを知り、失望する。イッパイアッテナと一緒に

行動するようになったルドルフは、ノラ猫としての生き方を、少しずつ教わっていく。そして友だちになったブッチーから、みんなから恐れられるデビルという犬の存在を知らされる。実は、イッパイアッテナには人間には知られてはいけないすごい能力があった。それはいったい・・・?

「君の名は。」×飛騨市



飛騨古川駅を渡る北側跨線橋から見た風景をイメージ ©2016「君の名は。」製作委員会



瀧が三葉を探す場面。この階段は「気多若宮神社」をイメージ ©2016「君の名は。」製作委員会



宮川町落合のバス停をイメージ ©2016「君の名は。」製作委員会

「私／俺たち入れ替わってる!?!」いく度も入れ替わる身体とその生活に戸惑いながらも、現実を少しずつ受け止める瀧と三葉。残されたお互いのメモを通して、時にケンカし、時に相手の人生を楽しみながら、状況を乗り切っていく。しかし、気持ちが打ち解けてきた矢先、突然入れ替わりが

途切れてしまう。入れ替わりながら、同時に自分たちが特別に繋がっていたことに気付いた瀧は、三葉に会いに行こうと決心する。「まだ会ったことのない君を、これから俺は探しに行く。」辿り着いた先には、意外な真実が待ち受けていた・・・。

「映画『聲の形』」×大垣市



大垣商店街

©大今良時・講談社／映画聲の形製作委員会



損斐大橋

©大今良時・講談社／映画聲の形製作委員会



美登鯉橋

©大今良時・講談社／映画聲の形製作委員会

“退屈すること”を何よりも嫌う少年、石田将也。ガキ大将だった小学生の彼は、転校生の少女、西宮硝子へ無邪気な好奇心を持つ。彼女が来たことを期に、少年は退屈から解放された日々を手に入れた。しかし、硝子とある出来事がきっかけに将也は周囲から孤立してしまう。

やがて五年の時を経て、別々の場所で高校生へと成長したふたり。“ある出来事”以来、固く心を閉ざしていた将也は硝子の元を訪れる。これはひとりの少年が、少女を、周りの人たちを、そして自分を受け入れようとする物語。

先着計100名様に限定オリジナルグッズプレゼント!

「ルドルフとイッパイアッテナ」特製缶バッジ

「君の名は。」特製クリアファイル

「映画『聲の形』」特製クリアファイル等

11:00からの各自治体職員による観光PR後に30名様分(予定)

13:30からの「ルドルフとイッパイアッテナ」原作者 斉藤 洋氏によるトークショー後に70名様分(予定)

※催事内容に若干の変更が生じる可能性があります。
※お一人様一個限りでお願いいたします。



東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分
JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分